

2016年9月2～4日四日市東日本大震災支援の会 第36回派遣 熊本災害ボランティア 活動報告

2016年9月13日
四日市東日本大震災支援の会 代表 鬼頭浩文(四日市大学教員)

ようやく便利な場所に仮設住宅の用地が確保され、6月18日に50世帯が仮設住宅へ引っ越し、残りの約250世帯も8月には引っ越しが終了しました。支援の会では、仮設住宅での生活を最初に開始した約50世帯の皆さんのコミュニティづくりを支援するサロン活動を、完成したばかりの集会所で開催しました。今回の活動では、台風の襲来が予想されたため、現地での移動時間を変更し、予定より早く四日市に帰着しました。

費用負担など

高校生 10,000 円、大学生 12,000 円 (学生スタッフ 8,000 円)

一般社会人 20,000 円

★食事は各自負担 (活動日の昼食のみ弁当支給)

★宿泊(素泊まり); 熊本県山鹿市山鹿 1838 「旅館巳喜(みき)」 電話 0968-43-5178

参加者

四日市大学学生 8 名、四日市大学職員 1 名、海翔高校生徒 7 名・教員 3 名、
鈴鹿医療科学大学学生 3 名、三重大学学生 3 名、三重県内中高生 4 名、
四日市市消防団ボランティア 1 名、社協ボランティア 1 名 計 31 名

<スケジュール概要>

★9月2日(金)

20:30 四日市大学9号館集合 (食事・入浴・歯磨きを終えて集合ください)

21:00 四日市大学出発 (四日市大学バス停裏の職員駐車場)

★9月3日(土)

8:30 頃; 現地到着

8:30~16:00 ボランティア活動

・仮設住宅見守り&告知

・集会所でお茶会

・たんぼぼハウスで四日市とんてき提供

⇒ 旅館巳喜 入浴など⇒9月4日(日) 大学帰着

<支援>

・赤い羽根中央共同募金会「ボラサポ九州」の助成金を受けて活動しました。

・四日市市内のお菓子屋さん「紅屋」「太白永餅金城軒」「菊屋」よりお菓子の提供を受けました。

★ありがとうございました!



お年寄りの話を聴く中学生・高校生



40名ほどの仮設住人とサロン活動



四日市のお菓子でお茶会&肩もみ



たんぽぽハウスの支援



仮設住宅のドアは車いすが通らず



よって、スロープがあっても役立たず



仮設の子供たちと記念撮影